

農林業ふれあい施設の指定管理者選定委員会（令和7年度第2回）議事録

1 日時

令和7年9月16日（火）午前10時～午後4時

2 場所

福岡市役所9階 特別会議室2

3 出席者

（1）委員

委員長 浅岡 由美
委員 水谷 公俊
委員 高木 智代
委員 平川 陽一郎

（2）事務局

政策企画課（森塚、野田、山口、阪本）

4 議事等

（1）開会

（2）審査の進め方について

<事務局より応募状況、タイムスケジュール、審査手順について説明>

（3）審査の実施

①花畑園芸公園

・【A社】

<提案書によりプレゼンテーション実施>

（質疑応答）

委員：現時点で課題と今後の計画は。

応募者：園芸について今より伝えていきたいため、学べるサインを充実させたい。また、親子対象に果実の収穫体験を実施し、触れ合う機会を増やしたい。

委員：人材の確保はどうお考えか。

応募者：指導員は若手の人材確保が重要と考えており、育成に力を入れている。また、県から情報をもらい、人材確保に努めている。

委員：子育て世代の集客はどうお考えか。

応募者：SNSの効果により今夏は多くの子育て世代が来園した。引き続き、SNS等を活用していきたい。

委員：コンプライアンスや個人情報保護に対する取組みは。

応募者：福岡市主催の研修のほか、民間が開催する研修を受講している。

委員：A I の活用とは具体的に。

応募者：公園不具合アプリのようなものを作り、利用者の声を収集、分析し、改善に活用したい。

・【B社】

<提案書によりプレゼンテーション実施>

(質疑応答)

委員：人員の確保はどうお考えか。

応募者：園長、副園長は未定。市とやりとりすることが多いポストになるため、市と相談しながら決めたい。継続雇用は少し声掛けしている。そのほか、個人事業主に声かけして確保済。

委員：会社の従業員は何人か。

応募者：1人。あとは業務委託。

委員：施設のどこから修繕したいと考えているか。

応募者：ガラスが危ないということで、人の立ち入りが難しい果樹温室をどうにかしたい。

委員：何を初めに取り組みたいか。

応募者：ミカン園が立入禁止になっているため、人が入れるようにしたい。老木も更新したい。

委員：油山ロード構想について、公園の運営と耕作放棄地の管理どちらもやることについては大丈夫なのか。

応募者：それも含めて人員確保を考えている。また、YouTube でボランティアを募集して草刈りなどをしてもらおう。お礼にミカンをあげるなど、ゲーミフィケーションを想定。

委員：一般人は草刈り機を操作することができないし、手でやるとなるとかなり大変。逆に農業が嫌いになるかもしれない。

委員：来園者のターゲット層はどうお考えか。

応募者：土日は子育て世帯、平日は散歩利用の高齢者がターゲットになると。そのため、キッズスペースを改善したい。

委員：借入金があるようだが。

応募者：公庫から創業融資を受けている。返済期間は約8年。

委員：引き続き、情報発信事業は行うのか。

応募者：行う。自主事業としてチャンネルを作り、有機的に連携できればと考えている。

委員：コンプライアンスなど、スタッフの研修計画は。

応募者：特に考えていない。

委 員：地域との連携はどうお考えか。

応募者：特に考えていない。

委 員：今の花畑園芸公園から変えないことは何か。

応募者：高齢者が楽しく歩ける空間があることは重要で価値がある。引き続き森林浴ができる空間づくりをしたい。

・【C社】

<提案書によりプレゼンテーション実施>

(質疑応答)

委 員：トイレの改修は収支計画に含まれるのか。

応募者：含めている。年2箇所ほどを想定。

委 員：集客のターゲット層はどうお考えか。

応募者：SNSに力を入れて子ども連れを増やしたい。

委 員：加工品について具体的に。

応募者：福祉施設等での製造を考えている。ドッグフード企業とコラボし、ドッグカフェの新設も考えている。

委 員：ドッグランを温室で実施するとあるが、安全面は大丈夫か。

応募者：現時点の情報では、改修できるか不明確であるため、令和8年度は建築点検の費用を見込んでいます。温室での実施が厳しい場合は、芝生広場での実施を考えています。

委 員：カフェの売上はどのように見込んだのか。

応募者：人件費などの経費から逆算し、これくらい収入が必要という数字を見込んでいます。最近では人より犬にお金を使う方が多いため、ドッグカフェの収益がさらに得られるかと。

委 員：夜の道は電気代がかかるのでは。

応募者：LEDライト使用で、施工は100万円程度の見込み。

委 員：獣害対策はどうお考えか。

応募者：イノシシ対策として猟友会と連携し、箱罠を設置したい。また、青色を嫌うため、青色テープを使うなど工夫したい。

委 員：老木対策はどうお考えか。

応募者：植え替えていく。園芸店から接ぎ木を持ってきて、農業高校の実習を行い、技術を学べる場にしたい。また、接ぎ木を販売したい。

②今津リフレッシュ農園

・【D社】

<提案書によりプレゼンテーション実施>

(質疑応答)

委員：人員確保はどうお考えか。年齢構成なども。

応募者：継続雇用を考えているが、高齢化が問題になってくるため、あぐりナビを活用して、新規人材も募集し、若返り化を図りたい。

委員：植栽管理は収支計画に含まれているか。

応募者：含めている。D´社が専門であるため、コストダウンができる。

委員：夏は暑く、体調不良で管理できなくなった区画はどうされるのか。

応募者：利用者による管理が厳しい場合は代理で除草する。

委員：いちごが人気。今までの利用者が離れていかないようにしてほしい。また、スマート農業も引き続きやってもらえるのか。

応募者：引き続き実施したい。既存事業は確実に実施し、プラスアルファで積極的に提案していきたい。

委員：栽培指導員の確保はどうお考えか。

応募者：農業生産法人と連携し、確保する考え。

委員：農業指導員が3人と少なく感じるがどうお考えか。

応募者：3人配置のほか、月1回の講座を実施。利用者とコミュニケーションを取り、品目の選択肢を増やすことに努めたい。

委員：2社で組んでいるのは何故か。過去にも組んだことがあるか。

応募者：ロープワーク作業や剪定などD社だけでは補えないものをD´社に実施してもらう。共同は初めてである。

委員：D´社は借入金があるようだが。

応募者：60年やってきている実績があるので問題ないと考えている。

委員：副施設長は継続雇用なのか。

応募者：そのとおり。

委員：継続雇用できなかった場合はどうするのか。

応募者：あぐりナビや農業生産法人のネットワークを活用して人材確保をする。

委員：残渣はどうするのか。

応募者：残渣は堆肥化が難しいため全て産業廃棄物で処理する。

・【E社】

<提案書によりプレゼンテーション実施>

(質疑応答)

委員：人員確保はどうお考えか。

応募者：本社から3名ほど従事。新規採用も考えている。

委員：農業指導員が2人だが、足りるのか。

応募者：現在は毎日配置しているようだが、土日プラス平日は希望がある日時で対応。ローテーションで2人と書いているが、実際は数名

準備している。また、オンラインでの相談受付も実施する。

委員：夏は暑く、体調不良で管理できなくなった区画はどうされるのか。

応募者：基本的には利用者主体でやってもらうが、コミュニケーションを大事にしていきたい。利用者協議会を発足し、利用者間で情報共有できる場を作る。

委員：指導員が常駐していないことは不安であるが。

応募者：経験上、相談より雑談が多い。常駐の必要はないと考える。

アドバイスできる人材は常駐している。

委員：利用者の自主性を重んじるのか。

応募者：自主性を重んじたい。そのため、貸し農園を申し込む前に教室に参加してもらいたいと考えている。

委員：イベントのネット申込は他の指定管理で実装済みか。

応募者：これから実装のため、収支計画に組み込んでいる。一気に変えるのではなく、少しずつデジタル化していければ。

委員：PRはどうお考えか。

応募者：昭和バスの広告、公告付きの種やうちわを配布、施設内にデジタルサイネージの設置を考えている。

委員：収入が指定管理料のみだが。

応募者：アイスや道具の販売など他施設での実績はあるが、自主事業は市と協議前なので収支計画には組み込んでいない。

・【F社】

<提案書によりプレゼンテーション実施>

(質疑応答)

委員：他に色々とされているが、今津での方針は。

応募者：循環型農業で体験農園から就農、援農につなげたい。イベントは子供向けも実施し、農育をしていきたい。初年度はターゲットを絞らず、どの層に刺さるか見ながら実施したい。

委員：今津に常駐する人員は。

応募者：常駐13人。プラス10人の継続雇用を考えている。

委員：老朽化が進んでいるが、何かから手を付けたいか。

応募者：体験農園の相談施設、備品の管理倉庫を改善したい。

委員：いちごの栽培は難しいが経験者はいるのか。

応募者：あまおう栽培をしている者が2人いる。

委員：就農支援はなかなか難しいと思うが、具体的に。

応募者：東部農協から後継ぎを探している農家情報を提供してもらい、マッチングさせたい。関東関西からの移住も誘致したい。伴走者となり、リフレッシュ農園で学んでもらい、就農につなげたい。

委員：財務面が債務超過だが25年8月決算は。

応募者：自主的に上場廃止という大きな経営判断を行った。リスク分担しており、安定的な資金調達ができている。25年8月決算は、売上32億円、営業利益6千万円、経常利益3千万円で、黒字で着地予定。

委員：短期借上はあるのか。返済計画は。

応募者：本社職員不在のため、財務状況の詳細不明。

委員：学校とのコラボを具体的に。

応募者：地域の小学校や保育園などで出張講座を考えている。

委員：人件費が少ないようだが、委託が多いのか。

応募者：そのとおり。植栽管理等専門業者に委託予定。

③立花寺緑地リフレッシュ農園

・【G社】

<提案書によりプレゼンテーション実施>

(質疑応答)

委員：立花寺はどのような施設と捉えているのか。

応募者：立花寺は都市部でたくさんの人の目にとまり、貸し農園も人気であるため、現状維持したい。また、売店のさらなる活用をしたい。

委員：とても人気で空いている区画なし。作物も元気がいい。

応募者：空港跡地の活用が可能であれば拡張の協議をやっていききたい。

委員：残渣はどうするのか。

応募者：基本産業廃棄物で考えている。糸島の養豚場跡地で水分の多い残渣と糞尿をまぜて堆肥化する事業があるようなので、そのような事例を勉強していききたい。

委員：イノシシのジビエイベントについて、市に食肉処理場がないのに、なぜこの提案をされたのか。

応募者：農水省のホームページを見た。糸島のジビエ工房から仕入れる予定。食育の一環として発信していききたい。

委員：農業生産法人では何を作っているのか。

応募者：果樹、にんにく、しょうが、露地野菜

委員：料理教室とは具体的に。

応募者：長浜鮮魚市場とのタイアップや放課後教室を実施したい。

委員：売店も大事と言われていたが、人員配置にない。

応募者：常駐は考えておらず、事務が兼任する予定。引き続き地元の農家に納品してもらおう。6次産業も取り入れたい。

・【H社】

<提案書によりプレゼンテーション実施>

(質疑応答)

委 員：今後さらなる発展は何があるか。

応募者：気候変動で栽培指導員も戸惑うほどの生育不良や害虫が発生。指導員とともに研究して、情報発信していきたい。また、近隣農家の野菜を買い取り、ECサイトやふるさと納税で販売し、農家のPRに繋げたい。

委 員：従業員の高齢化はどうお考えか。

応募者：福岡農業高校OBに相談し、紹介を受けている。

委 員：ECサイトやふるさと納税の提案のきっかけは。

応募者：近隣農家の作物がせっかくいいものののに適正価格で売られていない。適正な価格で買い取り販売していきたい。福岡市の返礼品に野菜がなかったため、競合しないと考える。欠品が一番心配なので生産者と協議しながら進めたい。

委 員：売店の売上が1500万円と大きいようだが。

応募者：オーガニック食品などこだわったものを仕入れている。健康志向の方から需要あり。